

部分床義歯補綴学実習Ⅱ

責任者名：安田 裕康

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)
石上 友彦(特任教授)
青山 芳博(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小豆畑 拓夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
宇美 隆生(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
内田 耕司(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
大野 繁(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
岡田 信夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
北村 晃一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小林 公(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
澤野 宗如(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高村 昌明(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
豊田 潤(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中臺 一介(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
藤本 俊輝(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三井 安治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
永井 栄一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三橋 裕(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
森川 正朗(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
伊藤 顕治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中林 晋也(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
眞田 淳太郎(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高橋 侑子(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯列欠損患者の治療方法の1つとしての部分床義歯製作法を修得する。部分床義歯を製作するために、その製作過程の中での維持装置の製作などの技工操作を習得し、また部分床義歯を完成し、顎模型への装着までの臨床操作を修得し、それらに関連する知識を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

1) 部分床義歯製作における、器材および材料の使用方法を説明できる。

- 2) 欠損形態の分類とその特徴について述べることができる。
- 3) 支台装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 4) 連結装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 5) 人工歯の種類、機能および適応について述べるができる。
- 6) 義歯床用レジンの種類、重合方法、適応について述べるができる。

◆評価方法

本教科の成績評価点は、平常時に行っている実習書に記載する製作物の完成度(評価項目 10 項目) (10 項目 ×10%) で評価する。なお、平常時に行う採点用製作物は、採点時あるいは採点後にフィードバックを行い、各学生に対して製作物のどこを修正すると、より良い製作物になるか指導する。また、実習の理解に関して、実習を観察し、実習内容に理解が足りない学生に対してレポートの提出を求める。その場合はレポート提出時に、レポート課題に対して、より良いレポートにするためのフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
安田 裕康	17:00~18:00 (火曜日) 歯科補綴学第II講座(本館5階)	03-3219-8144 desh20275@g.nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

実習は8月26日(全15回)から行われ、基本的に水曜日5時限に実習説明のための遠隔講義を行い、木曜日5~8時限に第5実習室で2グループに分かれて進行する。実習書の課題に対して積極的に実習を行い、評価を受けてもらう。レポートに関しては、実習の進行状況を見ながら、随時、課題を挙げて提出をしてもらう。

【実務経験】

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での臨床経験等の話しも交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や主に実技がどのように実際に活用されるかについて、わかりやすく解説し、適切な実技を学ぶ場を提供したいと考えています。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	部分床義歯補綴学実習書	日本大学歯学部歯科補綴学 第II講座編		2020

◆DP・CP

[DP-1]コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンシー：医の尊厳を理解し、法と論理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP-4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[DP-8]コンピテンス：省察力

コンピテンス：プロフェッショナルとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP - 1] 歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP - 4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な観点で問題を解決する力を養成する。

[CP - 5] 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

[CP - 8] 各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたる学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読み、実習前講義の説明内容を理解しておくこと。

遠隔講義、実習中に平常試験を行う為、それまでに十分に学習すること。

◆準備学習時間

各々実習時間の同等の時間を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

歯科理工学実習Ⅰ（2年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

咬合学概論（3年後期）

架橋義歯補綴学（4年前期）

部分床義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

架橋義歯補綴学実習（4年前期）

総義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

顎機能治療学（4年前期）

顎機能分析学（4年後期）

顎機能分析学演習（4年後期）

総義歯補綴学実習（4年後期）

部分床義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

総義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 2	A:5,6 B:7,8 時限	8.26	5 ～ 8	【対面】 1.支台装置の製作 34 および 37, 鉤の埋没の確認 (教)pp.86-89 34 および 37 , 鉤の鑄造 (教)pp.90, 91	<ul style="list-style-type: none"> ・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を行うことができる。 ・型ごと埋没法について, 他の埋没法との相違を述べることができる。 ・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
3		9.1	5	【遠隔】 2. 支台装置の製作 34 および 37 , 鉤の鑄造 (教)pp.90, 91	<ul style="list-style-type: none"> ・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
4 ～ 5	A:5,6 B:7,8 時限	9.2	5 ～ 8	【対面】 2. 支台装置の製作 34 および 37 , 鉤	<ul style="list-style-type: none"> ・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯)

				の鑄造 (教)pp.90, 91			④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
6		9.8	5	【遠隔】 3. 支台装置の製作 34 および 37, 鉤の試適・研磨 (教)pp.92-94	・鑄造体の作業用模型への試適および研磨法の技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
7 ～ 8	A:5,6 B:7,8 時限	9.9	5 ～ 8	【対面】 3. 支台装置の製作 34 および 37, 鉤の試適・研磨 (教)pp.92-94	・鑄造体の作業用模型への試適および研磨法の技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。

							⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
9		9.15	5	<p>【遠隔】</p> <p>4. 支台装置, 連結装置の作業用模型への固定 (教)pp.95-99</p> <p>5.人工歯排列</p> <p>1) 46 および 47 の人工歯排列 (教)pp.101-104</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作した支台装置を作業模型上に試適し, 鉤腕の形態修正および適合性について述べることができる。 ・金属床義歯の適合調整を行うことができる。 ・支台装置の咬合調整の目的を理解し, その技術を行うことができる。 ・人工歯の選択基準および排列基準を述べることができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
10 ～ 11	A:5,6 B:7,8 時限	9.16	5 ～ 8	<p>【対面】</p> <p>4. 支台装置, 連結装置の作業用模型への固定 (教)pp.95-99</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作した支台装置を作業模型上に試適し, 鉤腕の形態修正および適合性について述べることができる。 ・金属床義歯の適合調整を行うことができる。 ・支台装置の咬合調整の目的を理解し, その技術を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な

							な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
12		9.22	5	<p>【遠隔】</p> <p>5.人工歯排列</p> <p>1) 46 および 47 の人工歯排列 (教)pp.101-104</p>	<p>・人工歯の選択基準および排列基準を述べることができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯)</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
13		9.29	5	<p>【遠隔】</p> <p>6. 人工歯排列</p> <p>2) 35 および 36 の人工歯排列 (教)pp.105, 106</p>	<p>・歯肉形成の審美性, 機能的形態の目的および方法を述べるができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯)</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>

14 ～ 15	A:5,6 B:7,8 時限	9.30	5 ～ 8	<p>【対面】</p> <p>5.人工歯排列</p> <p>1) 46 および 47 の人工歯排列 (教)pp.101-104</p>	<p>・人工歯の選択基準および排列基準を述べるができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
16		10.6	5	<p>【遠隔】</p> <p>7. 歯肉形成 (教)pp.107-110</p>	<p>・床縁および義歯研磨面の形態について学び，その技術を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
17		10.13	5	<p>【遠隔】</p> <p>8. 一次埋没 (教)pp.111-120</p>	<p>・ろう義歯の埋没について，目的，方法および注意事項を述べることができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯</p>

							<p>の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
18 ～ 19	A:5,6 B:7,8 時限	10.14	5 ～ 8	<p>【対面】</p> <p>6. 人工歯排列</p> <p>2) 35 および 36 の人工歯排列 (教)pp.105, 106</p>	<p>・歯肉形成の審美性, 機能的形態の目的および方法を述べることができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯)</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
20		10.20	5	<p>【遠隔】</p> <p>9. 二次、三次埋没 (教)pp.111-120</p>	<p>・フラスクへの埋没前の試適と模型の調整法の術式を行うことができる。</p> <p>・フラスクへの埋没法について行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯)</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯</p>

							<p>の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
21 ～ 22	A:5,6 B:7,8 時限	10.21	5 ～ 8	<p>【対面】</p> <p>7. 歯肉形成 (教)pp.107-110</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯肉形成の審美性、機能的形態の目的および方法を述べることができる。 ・床縁および義歯研磨面の形態について学び、その技術を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
23		10.27	5	<p>【遠隔】</p> <p>10. 流ろうおよびレジン填入・重合 (教)pp.121-128</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レジン填入の前準備、レジンの混和および填入法の術式を行うことができる。 ・レジンの重合法について術式を行うことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性</p>

							と基本的操作方法を説明できる。
24 ～ 25	A:5,6 B:7,8 時限	10.28	5 ～ 8	【対面】 8. 一次埋没 (教)pp.111-120	・ろう義歯の埋没について、目的、方法および注意事項を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
26 ～ 27	A:5,6 B:7,8 時限	11.4	5 ～ 8	【対面】 9. 二次、三次埋没 (教)pp.111-120 (教)pp.47-50	・フラスクへの埋没前の試適と模型の調整法の術式を行うことができる。 ・フラスクへの埋没法について行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
28		11.10	5	【遠隔】	・フラスクへの埋没法について述べ	部分床義歯	E-3-4)-(2) 可

				10. 流ろうおよびレジン填入・重合フラスク埋没法(教)pp.121-128	ることができる。	補綴学実習	<p>撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
29 ～ 30	A:5,6 B:7,8 時限	11.11	5 ～ 8	【対面】 10. 流ろう(教)pp.121-128	・流ろうの目的を理解し，操作術式を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
31 ～ 32	A:5,6 B:7,8 時限	11.13	1 ～ 4	【対面】 10. レジン填入・重合(教)pp.121-128 ※土曜日（11/13）	<p>・レジン填入の前準備，レジンの混和および填入法の術式を行うことができる。</p> <p>・レジンの重合法について術式を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と</p>

							支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
33		11.17	5	【遠隔】 11. 取り出し, あら研磨 (教)pp.124-133	・ 重合した義歯のフラスクからの取り出し方法, 石こう塊の分割法などの技術を行うことができる。 ・ 義歯の取り出し方法について, その技術を行うことができる。 ・ 取り出した義歯のあら研磨と保管方法について行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
34 ～ 35	A:5,6 B:7,8 時限	11.18	5 ～ 8	【対面】 11. 取り出し, あら研磨 (教)pp.124-133	・ 重合した義歯のフラスクからの取り出し方法, 石こう塊の分割法などの技術を行うことができる。 ・ 義歯の取り出し方法について, その技術を行うことができる。 ・ 取り出した義歯のあら研磨と保管方法について行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を

							説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
36		11.24	5	【遠隔】 12. 最終研磨 (教)p.134	・最終研磨法について、その技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
37 ～ 38	A:5,6 B:7,8 時限	11.25	5 ～ 8	【対面】 12. 最終研磨 (教)p.134	・最終研磨法について、その技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作

							方法を説明できる。
39		12.1	5	<p>【遠隔】</p> <p>13. 部分床義歯の義歯床内面の調整(教)p.135</p>	<p>・義歯粘膜面の調整の目的およびその方法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
40 ～ 41	A:5,6 B:7,8 時限	12.2	5 ～ 8	<p>【対面】</p> <p>13. 部分床義歯の義歯床内面の調整(教)p.135</p>	<p>・義歯粘膜面の調整の目的およびその方法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
42		12.8	5	<p>【遠隔】</p> <p>14. 部分床義歯の</p>	<p>・咬合調整の目的および意義を理解し，その方法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部</p>

				咬合調整・顎模型への装着 (教)p.136	・顎模型への装着の方法を行うことができる。		分床義歯，全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
43 ～ 44	A:5,6 B:7,8 時限	12.9	5 ～ 8	【対面】 14. 部分床義歯の咬合調整・顎模型への装着 (教)p.136	・顎模型への装着の方法を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
45		12.15	5	【遠隔】 15. 実習統括	・部分床義歯の製作までの一連の流れについて学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持，把持，

							<p>維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
--	--	--	--	--	--	--	--

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
部分床義歯補綴学実習	804	永井 栄一
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	1373	中林 晋也
	2696	秋田 大輔
	3082	眞田 淳太郎
	3000272	青山 芳博
	3000273	宇美 隆生
	3000274	岡田 信夫
	3000275	北村 晃一
	3000276	小林 公
	3000277	中臺 一介
	3000280	藤本 俊輝
	3000281	三井 安治
	3000282	三橋 裕
	3000284	森川 正朗
	3000285	澤野 宗如
	3000287	高村 昌明
	3000288	大野 繁
	3000289	小豆畑 拓夫
	3000290	内田 耕司
	3000292	豊田 潤
	3000603	高橋 侑子
	5000005	石上 友彦
	2969	安田 裕康

